

特別会計

■特別会計・一般会計予算額（※千円未満は四捨五入しています）

	本年度予算額	前年度予算額	増減額
一 一般会計	119億8,800万円	118億4,000万円	1億4,800万円
特別会計			
土地取得特別会計	0円	0円	0円
老人保健特別会計	38億8,845万円	37億4,600万円	1億4,239万円
国民健康保険事業勘定特別会計	28億8,260万円	28億6,467万円	1,793万円
下水道事業特別会計	32億9,717万円	38億3,734万円	△5億4,017万円
介護保険事業特別会計	17億5,194万円	15億7,339万円	1億7,855万円
計	118億2,016万円	120億2,146万円	△2億0,130万円
合計	238億0,816万円	238億6,146万円	△5,330万円

平成14年度
施政方針

1 未来に向け
躍動するまちづくり

●道路網の整備

国道8号白根バイパス事業は、七工区の農地部分の用地買収を完了し、管理用盛土工事を進めています。六工区は一部を除いて、用地測量、物件調査も完了したことから、具体的な交渉に着手します。残りの区間についても現況測量に着手し、可能な限り事業の促進に努めます。

黒崎幅事業大野大橋架替整備は、大通一丁目信号機までの幅杭設置と物件調査が完了し、用地買収の着手が予定されています。平成十六年度の新大野大橋の完成を目指します。

国道460号白井バイパスは本線部の地盤改良と市道の横断ボックスに着手しており、引き続き橋りょう取付部地盤改良を行い、事業促進を図ります。

新潟大外環状道路計画については、ルートと道路構造の検討を行う予定です。白根市のルート決定と事業化の早期実現に向けて、関係市町と連携し働き掛けていきます。

主要地方道長岡・栃尾・巻線の整備については、中ノ口川から国道8号までの区間一・二キロメートルについて、

●土地取得特別会計
将来必要となる公共用地を、先行して取得するための会計です。前年度までの公共用地先行取得事業債の元利償還が完了したため、総額二千円と費目の計上だけとなっています。

●老人保健特別会計
七十歳以上の市民を対象に、医療費などを給付する会計です。医療費が伸びたことにより、対前年度比一億四千二百三十九万円（三・八％）増の三十八億八千八百四十五万円を計上しています。

●国民健康保険事業勘定特別会計
国民健康保険加入者を対象に、医療費などを給付する会計です。財源不足の解消には至っていませんが、療養給付費保険者負担の会計年度所屬区分が、三月から二月診療分に変更になったことで今年度は十一月分を計上し、これまで一部計上留保としていた老人保健拠出金等を全額計上する形で調整が図られました。その結果、前年度に比べ一千七百九十三万円（〇・六％）増の二十八億八千二百六十万円を計上しました。

●下水道事業特別会計
使った水をきれいに川へ返すことと自然と快適な生活環境を守るため、下水道事業が進められています。前年度から継続して中央浄化処理場施設と幹線・支線の管渠施設に取り組みんでいますが、過去の景気浮揚策の一環として行った前倒し施工の影響などで、三十二億九千七百七十七万円と、前年度に比べて五億四千七百七十七万円（一四・一％）の減になっています。

●介護保険事業特別会計
平成十二年度からの介護保険開始に伴い、新設された会計です。ホームヘルプサービスがあまり受け入れられない状況を反映し、居宅介護給付費で九千七百万円程度の減少が見込まれていますが、施設介護給付費が二億六千三百七十万円程度増加したため、前年度に比べて一億七千八百五十五万円（一・三％）増の十七億五千九百九十四万円を計上しています。

●ガス・水道事業会計
ガス事業では、災害に備えた中圧管のループ化や老朽管の入れ替えなど行っています。水道事業では、石綿セメント管の入れ替え工事を継続して行っています。また、ガス・水道の両事業において、マッピングシステム導入事業に伴う機器の購入やシステムの構築等に取り組みでいきます。

●白根市公共下水道事業
第一期認可区域の大通南、北部工業団地、白根北部地域については、平成十五年一部供用開始に向け事業推進を図っていきます。枝線管渠整備工事は、大通南、北部工業団地の六〇・一ヘクタールの工事を行うとともに、白根地区三二・四ヘクタールの整備を進めるための幹線管渠布設工事を行います。また、白根市公共下水道第二期計画の事業認可申請のため、計画区域の地質調査、実施設計業務に着手します。白根中央浄化センターについては、十三年度に債務負担を設定した処理場汚水処理施設の機械、電気、自家発電設備工事と、今年度から二カ年で実施する汚泥処理の機械、電気設備設置工事を合わせて実施します。北部、大通黄金中継ポンプ場の建設工事は、引き続き土木建築工事を実施し、機械、電気設備設置工事を二カ年の債務負担を設定して工事を進めていきます。

	ガス事業会計予算	水道事業会計予算
収益的収入	13億6,183万円	9億6,573万円
収益的支出	12億7,496万円	9億2,867万円
資本的収入	1億5,630万円	3億1,148万円
資本的支出	5億0,957万円	7億5,941万円

白根地域広域事務組合

平成十四年度の一般会計予算額は、十三年度事業の第三最終処分場建設の完了などで、前年度に比べ九億四千七百六十一万円（三・一八％）減の二十億三千四百二十万円となりました。今年度の主な事業内容として、総務部門では、住民への必要な情報の発信と行政情報の公開などを目的に、組合のホームページを開発します。

環境部門では、第三最終処分場の供用開始に伴い、施設の維持管理体制の整備を図ります。また、十二月一日からのダイオキシン類排出規制強化に対応した施設に改良するため、現在工事を進めているグリーンタワーの排ガス高度処理施設整備事業では、施設の完成に向けて事業を推進し、安定した環境保全を確立します。

このほか、循環型社会の構築に向けて、住民から収集したペットボトルを原料としたごみ指定袋を一部導入するほか、ペットボトルとプラスチック製容器包装の収集回数を増やし、ごみの減量化・資源化を一層推進します。消防部門では、複雑・多様化する各種災害に対応するため、資機材の整備を図ります。救急業務では、高度化する救急要請にこたえるため、高度救急資機材を積載した救急自動車の整備を行うほか、救急救命士の養成を一層推進します。また、救助技術の向上を図るため、訓練施設を整備し、救助体制の強化を図ります。

●ガス・水道事業
ガス事業は、下水道事業に伴う移設工事のほか、災害対策として中圧管のループ化や老朽管の入れ替えを計画的に実施し、より一層の安全、安定供給に努めます。水道事業では、石綿セメント管布設替え工事を継続的に進め、安心して飲める水道水の安定供給に努めます。

●主な事業と予算
● 鯉沼古川線整備事業 1億0,900万円
● 広域営農団地農道整備事業負担金 5,136万円
● 公共交通活性化方針策定事業 48万円
● 公共下水道事業 31億3,246万円
● 都市下水道幹線排水路改修工事 289万円
● 附帯営農地防災事業負担金 1億1,348万円

2 健康で心ふれあう
福祉のまちづくり

●障害者福祉

障害者プランを五カ年計画で施行します。障害のある人が住み慣れた家庭や地域で普通の生活ができるよう、施策を進めていきます。また、在宅の障害者福祉については、前年度に開所し